

第1回 大和北道路有識者委員会

議 事 録

1. 日 時 平成14年9月20日(金) 9:30～11:30

2. 場 所 奈良ロイヤルホテル 2階 鳳凰の間

3. 出席者

委員 長	近畿大学商経学部経済学科教授	齋藤 峻彦
委 員	京都大学大学院工学研究科教授	飯田 恭敬
	京都大学大学院工学研究科教授	小林 潔司
	奈良女子大学名誉教授	近藤 公夫
	(財)元興寺文化財研究所長	坪井 清足
	神戸大学大学院法学研究科教授	山下 淳

(五十音順)

事務局 国土交通省近畿地方整備局 道路部道路計画第一課
" " 奈良国道事務所
奈良県土木部道路建設課

4. 大和北道路にかかる経緯の説明

大和北道路にかかる経緯として、奈良県より「大和北道路について」、近畿地整備局より「これまでの検討経緯及び現状について」の説明がありました。

大和北道路について(奈良県)

これまでの検討経緯及び現状について(近畿地方整備局)

5. 議 事

1) 有識者委員会の規約(案)について

事務局から、大和北道路有識者委員会の規約(案)について説明があり、内容に関する確認がされました。

大和北道路有識者委員会規約(案)について

議事2)に関して次のような質疑がありました。

・第1条「時間管理を念頭におきつつ」の部分は削除

2) 大和北道路PIプロセスの進め方(案)について

事務局から、大和北道路PIプロセスの進め方(案)について説明がありました。

大和北道路PIプロセスの進め方(案)について

議事 2) に関して次のような質疑がありました。

STEP 2 「現地視察」

- ・ STEP 2 の現地視察の時期については、航空写真などの検討も踏まえ委員会で適切な時期を検討
- ・ 現地視察については、今回の事務局説明にあったこれまでの検討経緯などについて各委員の意見を十分に詰めてから行うべき

市民への情報発信

- ・ P I プロセスの各段階で情報発信をするべきである

P I プロセスの進め方

- ・ 適切な回答を得るためには、先行的な事例を収集し、進め方を議論すべき
- ・ P I プロセスのイニシアティブを有識者委員会がとるべきであり、「たたき台」等の提出についても、委員会から事務局に要望すべき
- ・ はじめに P I プロセスの内容、対象範囲を明確にしたうえで、P I プロセスにおける「市民等」の役割を明確にし、資料 - 5 「P I プロセスの進め方」について具体化する
- ・ P I プロセスの中にフィードバックの機能を入れるべき
- ・ 意見聴取の対象範囲についても議論すべき

その他

- ・ 大和北道路以外の京奈和自動車道の事業進捗状況や地下水・文化財検討委員会についても次回以降議論する

- 6 . 次回以降は、本日の議論を踏まえ、これまでの検討経緯に関する説明・議論や、P I プロセスの進め方、P I プロセスに関する事例の紹介などを行うこととなりました。

以 上